

# 宮城県 気仙沼市 選挙事務支援

秋和 勉（選挙管理委員会事務局）

## 担当業務の内容

東日本大震災により4月の統一地方選挙の執行が不可能となり、特例法により期日を延期したが、通常通りの執行は厳しい状況の中、宮城県選管から東京都選管に、県議会議員選挙及び県内自治体選挙について県内4市4町計51人の支援要請がありました。

少人数で長期の支援要請は個別に都内自治体で対応、要請人数の多い石巻市と気仙沼市については、石巻市を区部、気仙沼市を市部が担当することとし、最終的に14市5区・都の選管職員計24人が気仙沼市で選挙事務支援を行いました。

(1) 支援選挙 平成23年11月13日執行 宮城県議会議員選挙 気仙沼・本吉選挙区

(2) 支援内容 ○期日前投票所事務 常設5箇所＋巡回型期日前投票所19箇所

私は、気仙沼市の離島「大島」において、常設の期日前投票所を担当。

○開票事務 支援職員は、投票箱開錠、開披、分類、点検を担当。

## 苦労したこと・工夫したこと

「選挙事務執行の主体はあくまで気仙沼市選管であり、事務の進め方、風土等を尊重し、我々は実務をサポートする立場であることをわきまえ業務を進めることとし、求められれば中核的な業務も担うが、あくまで気仙沼市選管のやり方を尊重する。ただ、サポートとはいえ、自分たちの選挙と同様、責任ある対応をとること。」を念頭において支援に取り組みました。

## 印象的なエピソード

島の若者たちが、連日休み無くボランティアの受け入れ、瓦礫撤去作業指導等に従事。（本土では、ボランティアの取りまとめをボランティアが行っているため、地域の実情が分からず瓦礫撤去作業がはかどらないことがあったそうだ。）「今までに1万人ほどのボランティアが入ってくれている。一人1個ガラス片を拾っただけでも1万個のガラス片が撤去されたことになる。ありがたい。」と代表者。島で生まれ、島で育った人々が、島の復興へ向けゆっくりではあるが歩みを進めていました。

## 所感

県外の仮設住宅を含めた巡回型期日前投票の開設など過去に例をみない選挙事務であり、東京都としても初の複数自治体の混成チームによる支援等まさに初物尽くしの選挙において、現場で体感できたことは貴重な経験であり非常に意義のあるものでした。

このような災害による支援は今後ないことを願いますが、他市の選挙時に研修を兼ねたお手伝い等、今回の支援体制を応用できたらと考えます。



「チーム気仙沼」